

「食べさせ方」丁寧

離乳食を学ぶ

大船渡で子育てセミナー

大船渡市のNPO法
人こそだてシップが主
催する子育てスクール

「離乳食の進め方、ご一緒に演習しましよー」は11日、盛町のサン・リア2階にある市子育てセンター「す

宗徧流岩手東支部の池田宗節支部長らを迎え、稽古の復習と閉講式を行ったあと、地域の学童クラブの子どもたちや住民を招き、お点前を披露。自分がたてた抹茶を来場者に振る舞った子どもたちは、「おいしかった」という言葉に笑顔を返していた。



の発育に応じた食事について学び、親としての「食べさせ方」に理解を深めた。離乳食の具体的な食べさせ方や、食のしつけを学ぼうと企画。親

子15組が参加した。

講師を務めたのは助産師・保育士で、児童学博士や臨床発達心理士でもある山本正子氏。山本氏によると、東日本大震災翌年から大船渡市などで復興支援活動にあたり、同法人の立ち上げなどにも関わってきた。

山本氏は5カ月前後の初期をはじめ、発育の段階別に離乳食に対する心構えや注意点を説明。「赤ちゃんが食べ物に関心が出てきたということが大事。ほ

しいタイミングとあげるタイミングが一致するのでも大切」などと述
.....
分かりやすくアドバイスを送った山本氏（左端、電子新聞に別写真あり）

べた。

さらに、かむことは全身を使うとしたうえで、いすの選び方も解説。「自分で足がつくことができるからかみや踏ん張れるからかみやすい」と語った。

このほか、朝、昼、夕と同じ時間に食事をとる生活リズムの大切さなども分かりやすくアドバイス。聴講した母親たちは熱心にメモを取りながら、子育てでの実践に向けて意欲を高めていた。